

轟 と ど ろ

平成22年 6月25日
6月号

人権についての取組



6月は「いじめ根絶月間」です。3日に「あっても良い違いと、あってはならない違い」について校長講話を行いました。10の事象をカード化して一人一人に配布し、それぞれのカードに「x?」を記入するものです。「・・には・・さんと呼び、・・には呼び捨て」等の事象カードを使って、どこが問題なのか、又は問題はなかったのか根拠を話し合う仕方を2枚で確認しました。次に一人一人が自分でカードの内容を判断して残り8枚を記入した後で、クラスの友達と照合させ、違っている所や対策を話し合いました。xのカードの裏には、どうすれば になるのかの自分の策を記入させました。最後に、まとめとして「人には一人一人に色々な違いがある。違っていてもいい違いを個性といい、みんなで認め合うことが大切。しかし、違ってはいけない違いは差別といって、必ず辛い・悲しい・寂しい思いをしている人がいる。差別を自分や周りの人がしてはいないか毎日振り返りながら、差別を無くし、目配り・気配り・心配りをしあって、みんなが楽しい毎日となるようにしましょう。」と話をしました。

田植え・プール掃除を実施



4日(金)に高尾さんのご協力でも今年も田植えを行いました。全員が昨年体験していることから上手な手つきで植え付けており感心しました。その後プール掃除をしましたが、年々少なくなってきた児童数もあって、保護者はもとより地域の協力者の方にも参加していただきました。子ども達一人一人がブラシを手に持って汗だくになりながら掃除をしました。大人は、プール排水溝の掃除や高圧ポンプでの汚れ落としなど仕事を分担して磨き上げ、とてもきれいなプールになりました。

3・4年生が梅ジュースづくりに挑戦

3日に3・4年生は、校庭の梅ちぎり体験をしました。虫とり網を持って出かけたので虫取りと思いきや、梅の木から落とす梅の実が傷つかないように工夫しての収穫には感心しました。今年は梅の花が咲く頃に霜が降りたため、あまり収穫できませんでしたが、ご覧のとおり傷一つつけず収穫ができました。空き瓶に氷砂糖と梅を入れて、梅ジュースの準備完了です。



校長コラム

近ごろ、嫌になるくらい毎日テレビのニュースで子どもが親を、親が子どもをあやめる報道がなされている。一体どうしたのだろうか？あんなに平和だった日本が今や大変な状況になっている。激高して感情を抑えきれずに至ってしまうようである。このままでは日本は大変な事態になってしまう。人は関わり合って生きなければ生きられないのに、できるなら関わりたくない・面倒くさいと敬遠しようとする自分がそこにいないだろうか。家族にも友達にも本音は言えない心の孤立化が進んでいる。関わり不足が最大の原因である。良いことも悪いことも関わり合いの中で心が繋がらうものである。関わりが無くなると悪い所ばかりが目立って、全く相手の良い所が見えなくなる。このままでは身近で事件が起きないとも限らない。家族も友達もお互に関わり合う時間をわざとでも増やさなければならぬ。何しろ一緒にいる時間を作ろう、テレビを消そう、何か一緒に活動しよう。そうすれば会話が生まれ、相手の良さが感じられて心が落ち着く。「自分から挨拶、自分から声を掛けよう」これが、本校の重要な取組の一つである。

集団宿泊教室とエコセミナーに



1日から2日にかけて泉町内の5・6年生は集団宿泊教室および環境エコセミナー学習に出かけました。県環境センターでは環境保全活動を体験的に学び、水俣病資料館や水俣病情報センターでは、水俣病に関する詳しい資料を見学したり、水俣病語り部の方からの経験講話そして水俣病の悲惨さと立ち上がる姿を直接学びました。集団宿泊教室は、あしきた青少年の家で集団生活の規律や協力、仲間作りなどの体験をしました。みんなで息を合わせて漕ぐペーロン舟体験では、他校と競争し、泉連合チームが見事優勝しました。

老人会の花植えに感謝



毎年、正門横の花壇には縦木老人会のみなさんから沢山の花の苗を植えて戴いております。今年も、高木会長さんを始め7人で除草そして耕した後にサルビアやマリーゴールドをきれいに植えられ、その後に鹿よけネットを張り巡らせて作業は終了しました。天気も良く、そよ風が吹いて絶好の日和でした。活動が終わると校長もご招待いただき、みんなで輪になってジュースとお菓子で小宴会でした。おしゃべりと歌声、手拍子と笑い声が山々に響き渡りました。子ども達は、集合学習で出かけていました。



合澤先生がサッカー審判員のお話



9日に合澤先生からサッカーとの出会い、審判員になる経緯そして難関一級インストラクター合格の夢達成の喜びを基に「頑張れば何でもできる」ことを教えてもらいました。審判員の七つ道具やエフォームなど普段手にすることのできない物に子ども達は直接触れられて大感動の様子でした。

毎朝、体重測定そして記録を実施

4月の健康診断で7人中4人が肥満・やや肥満の判定を受けました。その対策として、歩いて登下校・体重測定とグラフ記録・朝のランニング・汗する体育と部活動に取り組んでいます。デジタル体重計をすぐ購入し、登校と同時に体重測定、記録用紙に数値を記録した後、折れ線グラフで変化を毎日確認しています。データは週末に家庭へ連絡します。

